２６　試験検査 （１）感染症検査	所管課 生活衛生課
根拠法令等	地域保健法、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 結核に関する特定感染症予防指針、後天性免疫不全症候群に関する予防指針 足立保健所健康相談実施要綱

目　　的

感染性微生物（細菌およびウイルス）検査や血液中の抗体検査等を行い、感染者の発見により感染症の拡大防止を図る。

事 業 内 容

ア　腸内微生物検査（赤痢菌、腸管出血性大腸菌Ｏ１５７、ノロウイルス等）
衛生管理の一環としての依頼検査、患者発生時等の感染症拡大防止のための行政検査

事　業　名		項　　目	受 付 窓 口
依頼検査	健 康 相 談	細　　菌	中央本町地域・保健総合支援課 各保健センター 生活衛生課(保育・入園課等実施分)
		ノロウイルス	生活衛生課
行政検査	感　染　症 関係者･経過者	細　　菌 ノロウイルス等	感染症対策課
	有症苦情・調査		生活衛生課

イ　ＨＩＶ等性感染症検査
感染症の拡大防止および区民の健康不安解消のための血液・尿検査

ウ　結核菌感染検査（インターフェロンγ遊離試験）
接触者健康診断としてのインターフェロンγ遊離試験（ＱＦＴ、Ｔ－ＳＰＯＴ.ＴＢ検査）

エ　外部精度管理等
検査精度確保のため、外部機関が配布する未知検体の検査

実　績　表

■感染症検査実施状況(検査検体数)

区分／年度	検体総数	腸内微生物	ＨＩＶ等性感染症	結核菌 インターフェロンγ遊離試験
5	21,883	21,305	577	1
6	20,176	20,176	・	・
7	**18,986**	**18,986**	▪	▪

令和６年度から、ＨＩＶ等性感染症検査および結核菌検査は、感染症対策課へ移行した。

■腸内微生物検査実施状況(検体数)

年度＼項目	総検体数	細菌		腸管系ウイルス	
		赤痢菌 ・パラチフスA菌 ・チフス菌・サルモネラ等	腸管出血性大腸菌	ノロウイルス	その他の腸管系ウイルス
5	21,305	10,953	10,282	70	－
6	20,176	10,273	9,884	19	－
7	**18,986**	**9,719**	**9,240**	**21**	**6**

■令和７年度腸内微生物検査実施状況（事業別）

項目＼区分	総検体数	依頼検査		行政検査	
		健康相談		関係者・経過者等	有症苦情・調査
		保健センター等	生活衛生課		
赤痢菌・パラチフスＡ菌・チフス菌・サルモネラ等	9,719	7,281	2,421	5	12
腸管出血性大腸菌Ｏ１５７	9,125	6,656	2,421	40	8
その他の腸管出血性大腸菌	115	10	-	97	8
ノロウイルス	21	・	7	6	8

■令和７年度細菌検出状況

月	区分		細菌名	血清型・毒素型	検出数
6	依頼	健康相談	サルモネラ	O4 群	1
7	依頼	健康相談	サルモネラ	O8 群	1
8	行政	経過者	腸管出血性大腸菌 OUT	VT2 (+)	1
9	行政	関係者	腸管出血性大腸菌 O157	VT1 (+)、VT2 (+)	1
12	行政	経過者	腸管出血性大腸菌 O78	VT1 (+)	1
12	行政	経過者	赤痢菌	ソンネ	1
12	行政	経過者	腸管出血性大腸菌 O157	VT1 (+)、VT2 (+)	1

■令和７年度ウイルス検出状況

月	区分		ウイルス名	グループ	検出数
9	行政	感染症	ノロウイルス	GⅡ	2
10	行政	感染症	ノロウイルス	GⅡ	4
2	行政	有症苦情	ノロウイルス	GⅡ	4

■ＨＩＶ等性感染症検査結果

年度＼区分	総数	ＨＩＶ抗原・抗体		クラミジア抗原		梅毒血清反応	
		件数	陽性数（陽性率）	件数	陽性数（陽性率）	件数	陽性数（陽性率）
5	577	236	－	166	11 (6.6)	175	－
6	・	・	・	・	・	・	・
7	▪	▪	▪	▪	▪	▪	▪

■結核菌検査結果（インターフェロンγ遊離試験）

区分／年度	検査件数	陰　性	判定保留	陽性（陽性率）	判定不可	その他
5	1	1	－	－	－	－
6	・	・	・	・	・	・
7	▪	▪	▪	▪	▪	▪

■令和７年度外部精度管理等

実施機関	調査	調査検体	項目	検体数
東京都健康安全研究センター	微生物学	スワブ	赤痢菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌	5

２６　試験検査
（２）食品検査

所管課
生活衛生課

根拠法令等　食品衛生法

目　　的

区民が健康で快適な食生活を過ごすために、食品の衛生等に関わる監視・指導・相談に対応した検査を行い、検査結果及び関連する保健衛生情報の提供を行う。

事 業 内 容

ア　安全な食品を区民に提供するために行っている食品の微生物学的検査及び理化学的検査

検 査 区 分	依 頼 元 等	検 査 項 目
収　去	食品監視指導計画に基づき実施	黄色ブドウ球菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌等微生物および食品添加物等の理化学検査
苦情相談・調査	区民等	
給　食	公立(学校・保育園)	黄色ブドウ球菌、サルモネラ、腸管出血性大腸菌等微生物検査

イ　妥当性確認
検査信頼性確保のため、「妥当性確認ガイドライン」に基づき分析法の妥当性を確認する検査

ウ　外部精度管理等
検査精度確保のため、外部機関が配布する未知検体の検査

エ　講習会等講師派遣及び情報提供

実　績　表

■食品検査実施状況(検体数)

区分／年度	検体総数		収　去		苦情相談・調査(参考品含む)		給食	妥当性確認
	微生物	理化学	微生物	理化学	微生物	理化学	微生物	理化学
5	430	141	269	140	27	1	134	・
6	262	15	128	12	1	3	133	・
7	**240**	**80**	**134**	**11**	**1**	**4**	**105**	**65**

令和７年度より、食品理化学の妥当性確認を実施。

■令和７年度食品微生物検査実施状況（項目別検査数）

区分／項目	項目総数	収去	苦情相談・調査	給食
項目総数	1,518	778	5	735
細菌数	239	134	－	105
大腸菌群	240	134	1	105
大腸菌	240	134	1	105
黄色ブドウ球菌	240	134	1	105
サルモネラ	238	132	1	105
腸管出血性大腸菌	213	107	1	105
カンピロバクター	105	・	－	105
その他	3	3	－	－

■令和７年度食品微生物検査要注意（参考含む）結果

食品内訳	検体数	項目数	項目内訳			
			細菌数	大腸菌群	大腸菌	黄色ﾌﾞﾄﾞｳ球菌(ｴﾝﾃﾛﾄｷｼﾝ陽性)
総　数	7	8	1	4	2	1(−)
未加熱そう菜	5	6	−	4	2	−
加熱済そう菜	1	1	−	−	−	1(−)
菓子	−	−	−	−	−	−
弁当・その他	1	1	1	−	−	−

■令和７年度食品理化学検査実施状況（項目別検査数）

区分／項目	項目総数	収去	妥当性確認
項目総数	434	226	208
着色料（食用タール色素 12 成分）	96	96	・
保存料（10 成分）	240	110	130
甘味料	98	20	78

成分数の記載がないものは、検体により成分が異なる。

■令和７年度食品理化学妥当性確認実施状況

項　　目	食品品目
保存料（10 成分）	あん類
甘味料	あん類

■令和７年度食品理化学苦情相談検査内訳

		検体数（検査に供した参考品含む）	項目数
総　数		4	7
内訳	異味・異臭	−	−
	異物	4	7
	有症苦情	−	−
	着色・変色	−	−
	その他	−	−

■令和７年度外部精度管理等

実施機関	調査	調査検体（調査検体数）	項目	項目数
一般財団法人食品薬品安全センター	微生物学	白飯（1） 見立て食品・加熱後摂取冷凍食品（凍結直前加熱）	一般細菌数（定量）	1
	微生物学	マッシュポテト（2） 見立て食品・加熱食肉製品（加熱後包装）	黄色ブドウ球菌（定性・定量）	2
	微生物学	ハンバーグ（2） 見立て食品・加熱食肉製品（包装後加熱）	大腸菌群（定性）	2
	理化学	シロップ（1）	着色料（定性）	1
東京都健康安全研究センター	微生物学	おかゆ（2） 見立て食品・冷凍食品 見立て食品・魚肉練り製品 見立て食品・食肉製品	細菌数（定量） 大腸菌群（定性） 黄色ブドウ球菌（定性・定量）	6
	理化学	菓子（2）	着色料（定性）	2

■令和７年度衛生講習会講師派遣及び情報提供

	内　　容	対　　象
衛生講習会講師	試験検査について	管理栄養士実習生

２６　試験検査
（３）水質検査

所管課
生活衛生課

根拠法令等	足立区プールの衛生管理に関する条例、学校保健安全法、公衆浴場法 災害時協力井戸に関する要綱

目　　的

プール水、浴槽水、災害時協力井戸等の水質検査を行い、区民の安全安心を守る。

事 業 内 容

ア　プール水検査

衛生管理の一環としての学務課（小中学校）からの依頼検査、営業施設プール等の行政検査
ｐＨ値、濁度、過マンガン酸カリウム消費量、総トリハロメタン（学校プールのみ）、大腸菌、一般細菌、残留塩素

イ　災害時協力井戸等検査

災害時生活用水確保のため、災害対策課からの災害時協力井戸の依頼検査、及び公園管理課からの防災対策設備設置公園井戸の依頼検査
ｐＨ値、色度、濁度、過マンガン酸カリウム消費量、臭気、外観、大腸菌、一般細菌

ウ　浴槽水等検査

公衆浴場、スポーツ施設、旅館業浴室等の浴槽水の行政検査
濁度、過マンガン酸カリウム消費量、大腸菌群

エ　レジオネラ属菌検査

公衆浴場等の浴槽水および営業施設のプール水の行政検査

オ　外部精度管理等

検査精度確保のため、外部機関が配布する未知検体の検査

カ　情報提供

実　績　表

■水質検査実施状況

種別／年度	検体総数	項目総数	プール水		井戸水等		浴槽水等		ﾚｼﾞｵﾈﾗ属菌	
			検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数	検体数	項目数
5	933	4,746	474	2,830	176	1,408	173	398	110	110
6	958	4,736	477	2,786	179	1,432	175	391	127	127
7	**939**	**4,644**	**476**	**2,730**	**175**	**1,400**	**175**	**401**	**113**	**113**

■プール水検査実施状況

区分／年度	検体総数	項目総数	小中学校プール※		行政検査	
			検体数	項目数	検体数	項目数
5	474	2,830	406	2,538	68	292
6	477	2,786	396	2,475	81	311
7	**476**	**2,730**	**382**	**2,390**	**94**	**340**

※　小中学校プール水は、各校１回２ポイントで年２回実施。

■災害時協力井戸等検査実施状況

区分／年度	検体総数	項目総数	災害時協力井戸		防災対策設備設置公園井戸	
			検体数	項目数	検体数	項目数
5	176	1,408	122	976	54	432
6	179	1,432	125	1,000	54	432
7	**175**	**1,400**	**121**	**968**	**54**	**432**

飲用以外のトイレの洗浄、清掃、洗濯などの生活用水として使用する。

■浴槽水等検査実施状況

区分／年度	検体総数	項目総数	項目内訳	
			大腸菌群	濁度・過マンガン酸カリウム消費量
5	173	398	52	346
6	175	391	41	350
7	**175**	**401**	**51**	**350**

■レジオネラ属菌検査実施状況

区分／年度	総数	浴槽水	プール・ジャグジー等	患者関連調査
5	110	77	15	18
6	127	92	10	25
7	**113**	**89**	**15**	**9**

■令和７年度レジオネラ属菌検査結果

検査名／種別	培養法			ＬＡＭＰ法※	
	検査数	陽性数	菌種・血清型（検出数）	検査数	陽性数
浴槽水	89	11	*L.pneumophila* 1群（3） *L.pneumophila* 5群（2） *L.pneumophila* 6群（1） *L.pneumophila* 8群（1） *L.pneumophila* 11群（3） *L.pneumophila* 群NA（3） *Legionella* 属（3）	－	－
プール・ジャグジー等	15	2	*L.pneumophila* 1群（1） *L.pneumophila* 6群（2）	－	－
患者関連調査	9	1	*Legionella* 属（1）	8	1
総数	113	14		8	1

※　ＬＡＭＰ法は原則、患者関連調査のみで実施

■令和７年度外部精度管理等

実施機関	調査	調査検体（調査検体数）	項目	検査数
東京都健康安全研究センター	水質	水（１）	濁度	1
		水（１）	過マンガン酸カリウム消費量	1

■令和７年度情報提供

内　　容	対　象
小中学校プール水質検査のまとめ	学務課

２６　試験検査
（４）家庭用品・工場廃水シアン検査

所管課
生活衛生課

根拠法令等　有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律
毒物及び劇物取締法

目　　的

家庭用品や工場廃水シアンの検査を行い、健康被害の未然防止を図るとともに、原因究明に繋げる。

事 業 内 容

ア　家庭用品検査
衣類等による健康被害を未然に防止するため、ホルムアルデヒド等を検査

イ　工場廃水シアン検査
区内メッキ工場の廃水中シアン含有量検査

実　績　表

■家庭用品検査実施状況

区分／年度	検体総数（項目総数）	基準違反件数	ホルムアルデヒド	内訳　繊維製品※	
				乳幼児用衣料	大人子供用衣料
5	30（49）	－	49	18（34）	12（15）
6	30（40）	－	40	17（26）	13（14）
7	**30（57）**	**－**	**57**	**18（40）**	**12（17）**

※　繊維製品のホルムアルデヒドは、素材別に検査する場合があるため実施数が検体数よりも増える。

■工場廃水シアン検査実施状況

区分／年度	検体総数	基準値超過数	初回検査	再検査
5	15	－	15	－
6	15	－	15	－
7	**15**	**－**	**15**	**－**

表章記号等について

この概要で使用されている表章記号等の意味については次のとおりです。

－（ダッシュ）	その事象が出現する可能性を持っているが、統計上出現しなかった場合
・（なか点）	その事象が出現することは、本質的にありえない場合